

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立菨木小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	重点目標に対する評価と次年度へ向けて ・教科横断型カリキュラムとして作成した合科関連的な単元配列表を活用し、効果的な教育課程を実施することができた。指導と評価の一体化を促す手立てを今後構築していく。 ・地域人材の豊かな知識や経験を生かした支援により体験からの学びを充実させることができた。児童の課題意識に応じた体験学習の開発や郷土の課題解決のために自分や地域住民でできる持続可能な取組について充実させていく。 ・研究発表を行う年度であったがメリハリをつけて業務を行うことができた。職員が心身共に健康に働くことができるように、業務改善と時間外勤務時間の縮減の視点をもち、組織力を生かした改善策を探っていく。
------------------	---

2 学校教育目標	◇◇◇保護者や地域と共に創る「一人一人の笑顔が輝く」菨木小◇◇◇ <b>自ら気づき、考えて、動く子どもの育成</b>
----------	---

3 本年度の重点目標	① 主体性の深化と発展を目指したカリキュラムマネジメントの推進 ② 地域人材の積極的な活用と、体験活動・表現活動の充実 ③ 組織力を生かした業務の改善と時間外勤務時間の縮減
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成する。 【マイプランにおける教師の達成率80%以上】	・教職員間で共通実践を共通理解するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・学期に数回、唐津の学びスタイルチェックシートで進捗を自己評価する。							学力向上対策コーディネーター
	○主体的・対話的で深い学びの継続と展開	○学校は、児童が主体的に考え、グループやクラスで話し合うことで、自分の考えを広げたり深めたりする授業に取り組む。 【自分の考えを広げたり深めたりする児童85%以上(児童アンケート)】	・主体的に学べるような単元づくりや課題設定を行う。児童自身が学びをメタ認知できるような振り返りの場を設定し、唐津の学びスタイルに沿った授業展開ができるようにする。							研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「あいさつ十言」「ほかほか言葉」を推進し、児童の豊かな心づくりに取り組む。【「あいさつ十言」「ほかほか言葉」の言葉遣いをしている児童85%以上(児童アンケート)】	・児童の思いを高め、学校行事や集会活動を主体的に企画、運営する。 ・あいさつ十言、ほかほか言葉の推進をする。							特別活動主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○道徳授業やアンケート等を効果的に活用し、いじめの早期発見・早期対応、いじめを生まない風土や集団づくりに取り組む。 【保護者アンケート85%以上】	・いじめの早期発見のため月1回のいじめアンケートを実施する。 ・いじめを生まない集団づくりのため、道徳や学級活動を中心とした授業の充実を図る。							教頭
●健康・体づくり	○「望ましい生活習慣の形成」 ○「安全に関する資質・能力の育成」	○学校は「早寝・早起き・朝ご飯」を呼びかけたり、生活を振り返る場を設定することで、よりよい生活習慣づくりに取り組む。【保護者アンケート85%以上】  ○児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする【児童の交通事故0(ゼロ)】	・「早寝・早起き・朝ご飯」の徹底を図るために、元気チェックによる振り返りをする。 ・交通安全教室や避難訓練を通して、「自分の命は自分で守る」という危機管理意識の向上を図る。							教頭
	○日常的に健康・体力づくりに取り組む力の育成	○外遊びや、体育学習、環境を工夫することで、自ら運動しようとする態度づくりに取り組む。【外遊びや体育の学習で進んで運動している児童85%以上(児童アンケート)】	・体育授業で学習カードを活用したり、運動検定カード(水泳・なわとび・持久走)を作成し、体力づくりに向けた活用促進を図る。							体育主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 【県費職員の時間外勤務時間が、月平均で30時間を下回る】	・教材の共有や校務の情報化を図る。 ・チームワークを活かし連携・協働した対応を行う。報告、連絡、相談を心がけ、感謝と尊敬の気持ちで行動する。							教頭

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○主体性の深化と発展を目指したカリキュラムマネジメント	○「学びづくり部」「心づくり部」「体づくり部」の3部連携を軸とした教育課程の見直しと改善	○上学年部会部会、下学年部会を組織し研究と実践を進めて行く。 ○校内研究全体会を年間10回以上開催する。 【全体研究会の開催10回以上】	・校内推進委員会、全体研究会、各部会をとおり、カリキュラムマネジメントを推進する。							教務主任
◎志を高める教育	◎地域と連携を図りながら郷土を誇りに思う児童の健全育成	◎地域の人・もの・ことを活用した体験型学習 全学年年間3回以上 【各学年の体験活動実施3回以上】	・菨木町教育フェスタを活用した体験活動の場を設定する。 ・地域の方と学んだことを発信するとともに、学ぶよさを実感し、感謝の気持ちを伝える場として「地域ありがとう集会」を実施する。							教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------